

# 祝 令和3年 秋の叙勲 瑞宝単光章(消防功勞)



好きだからこそ続けてこれた  
人との繋がりは大きな財産

小原 <sup>こうき</sup>廣記さん (67歳)  
西根針山在住

元金ヶ崎町消防団団長。昭和55年4月～平成31年3月までの39年間、町消防団員として活躍し、副団長や団長を歴任。現在は町消防団の顧問として後輩の活動を見守る。スポーツ観戦と孫と遊ぶことが楽しみ。妻、娘と3人暮らし。

消防団での活動を振り返り「いつも周りの人に支えられてきた」と感謝する廣記さん。

28歳のとき近所の先輩に勧められ、自分も少しでも地域に貢献できればとの思いから入団を決意。当初は活動に参加できなかったが、火災現場で先輩の姿を見るうちに、次第にできることも増えていった。当時、廣記さんの所属する部は、操法大会で管内トップクラスの成績を残していた。先輩の言うことを守っていれば間違いないと信じ、技術習得にまい進した。

規律厳正を信条とし、助ける立場の人が怪我や事故を起こさないよう、団員の「安全」も常に心掛けた。現場の被害を最小限に食い止めたい一心で真つ先に現場に駆け付けた。

近年、さまざまな災害が発生するなか、「何をするにも知識が必要。積極的に講習会に参加し、先輩の技術を盗んでほしい」と後輩の活躍を願う。

叙勲を受け、「妻には今まで一生懸命支えてもらった。妻の協力がなければここまでやってこれなかった。コロナが落ち着いたら旅行などで恩返しできれば」と感謝する。

今後は、自分の知り合った経験や知識を団員や地域に伝え、防災士の資格取得も目指す。

「消防団が好きだから39年続けてこれた。消防団で得た人との繋がりは大きな財産」と充実した表情で語る。

## 広報日記



10月は町内で秋を楽しみイベントが開催されました。おすすわけライドでは、和光や千貫石、軍馬の郷や伝建群まで駆ける町内一周のコース。普段からサイクリングをしていない人にとっては少しハードだったかとは思いますが、ゴールの産直かねがさき前では皆さん充実した表情をしていました。これから少しずつ寒くなっていきますが、天気の良い日はサイクリングやウォーキングもいかがでしょうか。(村口)

### 町公式 LINE で情報発信！

広報かねがさきの発行などを LINE (ライン) でお知らせします。



友達登録はこちらから

### 人口と世帯

10月31日現在

※( )内は前月比

人口	15,461人	(-40)
男	7,934人	(-25)
女	7,527人	(-15)
世帯数	6,244世帯	(-16)